



北九州SDGs

令和4年4月22日  
北九州市環境局グリーン成長推進部

## 脱炭素社会の実現に向けた 企業・大学との連携協定締結について

### 1 連携協定締結に係る記者会見の概要

本市が目指す脱炭素社会の実現に向けて、企業や大学との連携体制を構築し、今後の取組の更なる推進を図ることを目的に、本日、それぞれの企業・大学と連携協定を締結します。

- (1) 日 時 令和4年4月22日（金） 11時00分～11時45分
- (2) 場 所 北九州市役所本庁舎3階 大集会室
- (3) 配 席 別紙1のとおり
- (4) 連携の内容 別紙2のとおり
- (5) 出席者 北九州市長 <sup>きたはし</sup> <sup>けんじ</sup> 北橋 健治  
株式会社井筒屋 代表取締役 <sup>かげやま</sup> <sup>ひでお</sup> 影山 英雄  
九州電力株式会社 執行役員北九州支店長 <sup>ゆす</sup> <sup>りょうたろう</sup> 柚須 亮太郎  
トヨタ自動車九州株式会社 代表取締役社長 <sup>ながた</sup> <sup>おさむ</sup> 永田 理  
九州工業大学 学長 <sup>みたに</sup> <sup>やすのり</sup> 三谷 康範

### 2 記者会見の次第

- (1) 北橋市長からのご挨拶と連携の趣旨のご説明
- (2) 連携企業・大学からのご挨拶と連携事項・取組内容のご説明
- (3) 記念撮影
- (4) 質疑応答

#### 【問合せ先】

(株式会社井筒屋、トヨタ自動車九州株式会社との連携に関すること)

北九州市環境局グリーン成長推進課

電話：093-582-2286 担当：工藤、玉井

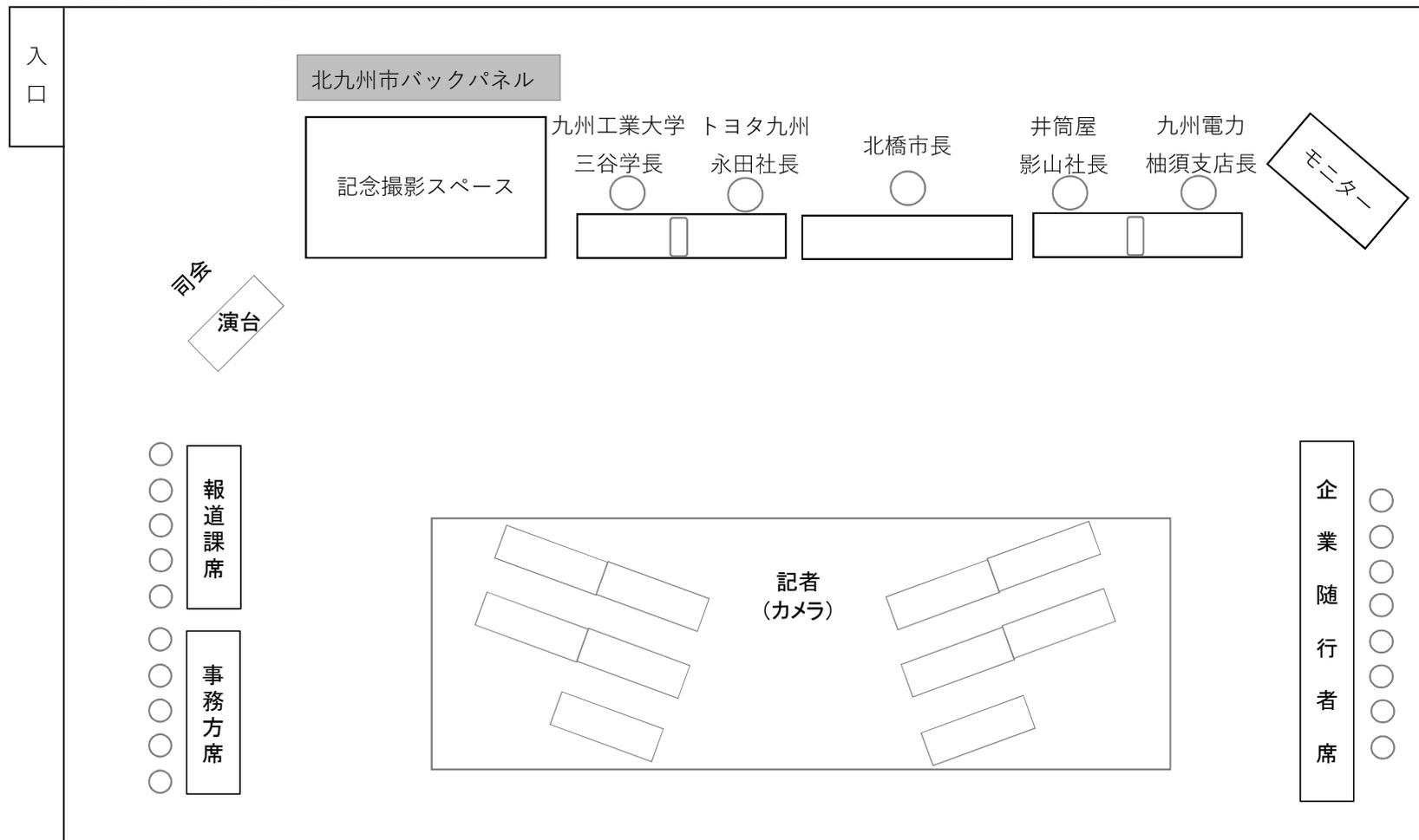
(九州電力株式会社、九州工業大学との連携に関すること)

北九州市環境局再生可能エネルギー導入推進課

電話：093-582-2238 担当：柿木、塩田

### 連携協定締結に係る記者会見 配席表

令和4年4月22日(金)11時00分～11時45分  
本庁舎3階大集会室



## 各企業・大学との連携内容について

## ○株式会社井筒屋

## 『ゼロカーボンシティの実現を目指す連携協定』

連携の目的：電動車の活用及び普及促進や、再生可能エネルギーの導入拡大を進めることで、まちの魅力向上及び2050年のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指す『ゼロカーボンシティ』の実現に向けて取り組む。

連携の内容：①電動車のカーシェアリング実証事業の実施  
②再生可能エネルギーの導入拡大によるゼロカーボンドライブの普及やCO<sub>2</sub>排出量の削減

## ○九州電力株式会社

## 『地球温暖化対策の推進に関する連携協定』

～ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギーの脱炭素化を目指して～

連携の目的：地球温暖化対策の推進に関する取組の一環として、相互の連携を強化し、北九州市の地球温暖化対策の推進に取り組む

連携の内容：①蓄電池の活用などを通じた再生可能エネルギーの利活用及び導入拡大  
②脱炭素化に向けたエネルギーの転換  
③北九州都市圏域における脱炭素の取組の推進

## ○トヨタ自動車九州株式会社

## 『カーボンニュートラル推進に関する連携協定』

連携の目的：電動車バッテリーのカスケード利用、リサイクル推進。水素の活用などを通じた、カーボンニュートラルの実現に向けた取組の加速化を図る。

連携の内容：①電動車バッテリーの3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組推進  
②水素の利活用に向けた情報共有・連携体制の構築

## ○九州工業大学

## 『再エネ100%電力普及に関する連携協定』

連携の目的：次世代発電・蓄電技術の確立を通じた、再エネ100%電力の普及や、電力分野におけるCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指した取組の推進

連携の内容：①次世代型太陽電池の社会実装を目指した実証事業の実施  
②竹の資源化を通じた脱炭素技術の開発  
③大規模蓄電池の制御手法の確立と社会実装を目指した実証事業の実施